

★庄内保育所で七夕まつり★

♪笹の葉
さらさら♪



▲飾りつけのあと、みんなでポーズ！

7月7日、庄内保育所で七夕まつりがありました。この日は人権交流センターの識字学級のみなさんも七夕まつりに加わって一緒に歌をうたったり、ブックライトの紙芝居で七夕のお話を楽しんだりしました。用意された笹には、七夕の飾

りや子どもたちの願いごとが書かれた短冊がつけられており、飾られた短冊をそつと見ると「自転車のこまなしが乗れるようになりたい」とありました。さて、織姫と彦星は今年も無事に会えたでしょうか？



▲中山中学校にて

社会を明るくする運動
「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」
毎年7月は「社会を明るくする運動強調月間」で、今年で60回目を迎えました。犯罪や非行のない地域をつくるために、一人ひとりが考え、参加するきっかけをつくることを目指しています。今年の標語は「考えよう立ち直ろうとする勇氣」です。
7月1日に保護司会、更生保護女性会が中心となり、町内の各地区で街頭啓発活動を行いました。
今年は、小・中学生に「わたしは、わるいことをしません！」という、ちかいの黄色い羽根が配布されました。

全国農業コンクール 優秀賞受賞

大山ブロッコリー
林原博寿さん



▲全国農業コンクール現地審査の様子
(中央が林原さん)

第59回全国農業コンクール全国大会が7月8日(木)に青森市で開催され林原博寿さん(岡)が優秀賞を受賞されました。大会は、全国の農業者、関係機関、一般消費者など約1500人が参加して行われ、全国の農家や農業法人の中から事前審査により選出された全国20代表が実績発表を行いました。

林原さんは「ブロッコリー産地復興への挑戦」をテーマに発表され、この中で今後も大山ブロッコリーが発展するようがんばりたいと熱意を述べられました。中央審査委員会委員長は「全国20事例は甲乙つけがたく、どの経営も優れていると感じた」と講評しました。

大山ブロッコリーにける想い

家族や地域の
支えを力に

中原潤一郎さん

脱サラ後にブロッコリー栽培を始め、大山町で9組目となる家族経営協定を結んだ中原潤一郎さん(中村)は、鳥取県JA青年の主張大会で最優秀賞を受賞し、県代表として11月5日の中・四国大会へ進み2月の全国大会を目指します。



▲減化学肥料栽培にも取り組んでいます(中原さん)